

ヒロシマ・ナガサキ被爆70年 原爆と人間展

アメリカによって広島と長崎に原爆が投下されてから70年を迎えます。広島と長崎では投下されたその年に21万人の命が奪われ、生き延びた人々も心身の傷と病などの苦しみを強いられてきました。被爆の実相と被爆者の警告は、核兵器が人類と共存しえない「悪魔の兵器」であることを示しています。

世界にはまだ約1万6千発もの核弾頭が存在しています。核兵器使用がいかにか破滅的な結果をもたらすのか、この危険を根絶することは、世界の平和と人類の生存にとって緊急の課題です。

国際政治でも、核兵器が破壊的な「人道的結果」をもたらすことについての議論と認識が発展し、核兵器を二度と使わせてはならないという決意が広がっています。今こそ核兵器の禁止と廃絶を一刻も早く実現するために力を尽くしましょう！

ヒロシマ・ナガサキ被爆70年『原爆と人間展』に是非お出かけ下さい。

記

日時：2015年11月7日（土）

午前11時～午後4時30分

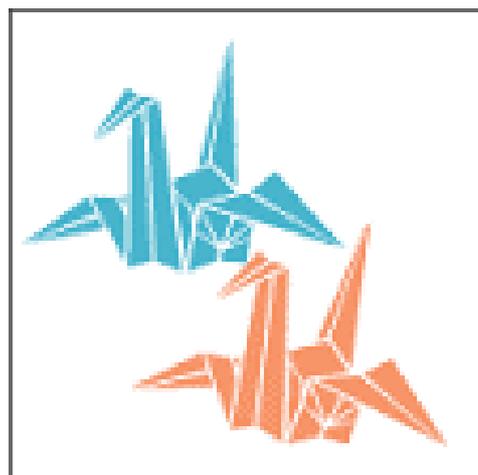
会場：台東区立「浅草公会堂」

（裏面地図参照）

プログラム：パネル展示

被爆者の証言

入場無料



後援：台東区区长
共催：原水爆禁止台東協議会

台東区教育委員会（予定）
原水爆禁止東京協議会
豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館
電話 03-5395-4222

